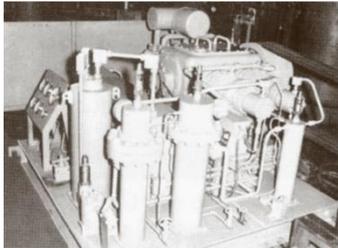
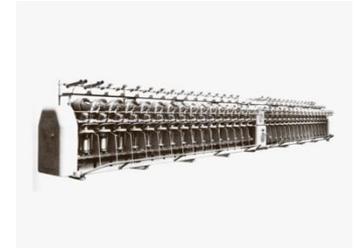


KAJI 2030 VISION



2022.6



1905年（明治38年）に繊維機械メーカーとして誕生した私たち加地テック。以来その時代ごとのニーズに応え、様々な製品を開発。社会とともに私たち自身も変化し、技術・製品を進化させてきました。



そして今、私たちを取り巻く環境はかつてない大きな変化の只中にあります。



私たちを取り巻く環境の変化 | 長期グローバルトレンド① |



脱炭素社会の実現に向けた動き

- 地球温暖化は急迫・深刻化（異常気象の頻発・生態系の変化）
- 2050年カーボンニュートラル宣言（カーボンニュートラル燃料への移行）

私たちを取り巻く環境の変化 | 長期グローバルトレンド② |



デジタル技術の進展

- インターネット・ブロックチェーン技術の進展
- 革新的な生産性向上（AI、IoT、ロボット等）

私たちを取り巻く環境の変化 | 長期グローバルトレンド③ |



Sustainability

SDGsへの取り組み

○持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）への対応

2030VISION | スローガン |



Create the Future

KAJIの力、地球のために



2030VISION | 2030年のありたい姿 |

私たちの強みと、社会、事業環境の変化を照らし合わせ、2030年のありたい姿を描きました。
これを起点にバックキャストで戦略を実行していきます。

2030年のありたい姿

超高圧技術でカーボンニュートラル社会の実現に貢献する 「モノづくり」 & 「ソリューションサービス」 企業

カーボンニュートラル社会の実現に要求される製品の開発を通して、
超高圧圧縮技術で常にカーボンニュートラル市場をリードし、
地球環境の保全に貢献している。

変わらない私たちの考え方 | 企業理念 |

社会が変化しても変わらない私たちの根本にある考え方が企業理念です。

全社員があらためて企業理念を再確認し、2030VISIONの実現に取り組みます。

企業理念

技術に立脚し社会が求める優れた製品及びサービスを提供することにより、
全てのステークホルダーの繁栄並びに経済・社会の発展に貢献する。

常に技術の研究開発に努め、
グローバル化の時代に即した国際競争力のある企業体質を涵養し、
世界の企業として発展する。

基本方針

既存市場における圧縮機ビジネス（製品販売及びアフターサービス事業）において、事業拡大と収益力を向上させ、その原資を基に来るべきカーボンニュートラル社会の実現に向けた製品開発・商品化を推進し、カーボンニュートラルに向けた新しい市場において超高圧圧縮技術でトップシェアとなる。

基本方針 01

当社の強みである超高圧技術を使ってカーボンニュートラル社会の実現に要求される製品を開発し、新しい市場において先行して商品化を進め超高圧圧縮技術で常に市場をリードしていく。

基本方針 02

既存事業のQCD強化により製品競争力を高め事業を拡大する。

基本方針 03

Lifecycle Solution Service型ビジネスを志向したアフターサービスの拡大により収益力を向上する。

基本方針 04

超高圧圧縮技術で、海外市場においても存在感を示す企業となる。

具体的戦略

基本方針 01

カーボンニュートラル社会の実現に向けた製品開発・商品化を推進する。

戦略 01

水素ステーションのコストダウン、コンパクト化、低ランニングコスト化及び大型化に向けた開発を進め、水素ステーションでのトップシェアの維持とシェア拡大を図る。



© Iwatani Corporation

戦略 02

水素サプライチェーンや利活用分野の開発・実用化の過程で求められる高圧圧縮ニーズをタイムリーに把握し、それに基づく製品開発を推進し、先行して市場投入を図る。



出典：新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）
ニュースリリース（2018年8月9日）

戦略 03

アンモニア、合成燃料（e-fuel）の利活用やサプライチェーン、CCU/CCUS※の分野においても、高圧技術を活かした製品開発・実用化を目指す。

※ CCU（Carbon dioxide Capture and Utilization）：CO₂回収・利用
CCUS（Carbon dioxide Capture, Utilization and Storage）：CO₂回収・利用・貯留



具体的戦略

基本方針 02

既存事業のQCD強化により製品競争力を高め事業を拡大する。

戦略 01

基幹システムの刷新によりデジタル化を進め、業務効率化による事務部門の生産性向上を図る。
(事務部門生産性2倍)



戦略 02

新総合組立工場を最大限活用した生産方法とするための最適物流を構築し、生産のデジタル化・生産技術の最新化を進め、工場の生産性向上を図る。
(工場生産性2倍)



戦略 03

製品・サービスの品質向上、原価低減、納期短縮に向けた日々のPDCA活動により、製品競争力を高め、事業拡大を図る。



具体的戦略

基本方針 03

Lifecycle Solution Service型ビジネスを志向した
アフターサービスの拡大により収益力を向上する。

戦略 01

納入実績データに基づく部品・サービスの受注売上計画に沿った営業活動を確実にそして積極的に展開することにより部品・サービスの拡大を図る。



戦略 02

IoT技術とAI技術を活用した顧客の問題解決（ソリューション）型サービスを新たに提供する。このサービス展開により顧客の利益を創出し、製品納入から納入後のサービス、次期製品更新へと製品ライフサイクルを通じたビジネス展開を目指す。



具体的戦略

基本方針 04

超高圧圧縮技術で、海外市場においても存在感を示す企業となる。

戦略 01

カーボンニュートラル市場向けに開発・商品化し国内での安定運転の実績を積み上げるとともに、海外市場に展開する。



戦略 02

海外展開に当たっては海外パートナー企業と提携し、当社ベアマシン供給による提携先での現地組立、販売、アフターサービス体制を構築して、事業化を目指す。



共通戦略

基本方針

01

従業員エンゲージメントを高める経営

従業員一人ひとりが所属する組織と仕事に熱意を持って自発的に貢献しようとする意欲（従業員エンゲージメント）を高める経営を目指す。例えば、

- 会社のビジョン、ミッションを従業員と共有する
- 社内コミュニケーションをより活性化させる
- 従業員の挑戦をサポートする環境を作る



基本方針

02

TQM(Total Quality Management 総合的品質管理)による製品品質・サービスの向上

ISO9001に基づくQMS活動の有効性をより高めるために、TQMの考え方による活動を取り入れ、製品・サービスの品質を継続的に高める。

- プロセスを重視し、品質を向上させるという社内環境の整備・改善を推進する。
- 利益を創出するための全社的なアプローチをとることにより、業務の効率化と従業員のモチベーションやエンゲージメントを向上させる。



基本方針

03

SDGsへの取り組み強化

地球環境負荷を低減するために、水素をはじめとするカーボンニュートラル社会構築のための製品開発とその製品のビジネス展開を進め、カーボンニュートラル社会の実現に貢献する。また、カーボンニュートラル社会の実現に向けた事業展開で、持続可能な経済成長と、性別人種等の区別なく働きがいのある企業風土を醸成し、より良い職場環境を構築する。



経営数値目標

売上高	110億円
営業利益	11億円（営業利益率10%）
純利益	8億円
ROE	8%

